

**茨城県精神保健福祉会連合会 令和3年度定期社員総会開催 -6月9日-**

議事は令和2年度の事業報告と令和3年度の事業計画について、又、任期満了に伴う役員の改選もあり、会長に水戸地区精神保健福祉会の兼清氏が再任されました。

コロナウイルス感染拡大防止のため会場が確保できず、多くの事業が中止となり、書面やオンライン開催などこれまでにない事業の形態となった事が報告されました。

又、昨年に茨城県に提出した陳情書の回答があり、精神障害者保健福祉手帳2級までマル福の助成をお願いしたことについては、現在手帳1級保持者2,011人のうち約3割の手続きが行われていないという書面での報告でした。

会長会議では千葉家連による講演会のDVDの視聴(2時間4分)がありましたが、時間の都合で途中の退席となりました。

県西家連設立の計画があり、筑西を中心に坂東、下妻、古河の家族会とNPO関係の代表者が集まることとなりました。

三浦副理事長

県西家連絡協議会設立会開催 -7月6日-

ふれあいに参加している茨城県精神保健福祉会連合会は、福祉の推進活動を行っております。水戸市にある本部中心の活動では、県内は広域であるため、属団体が集まり活動を行うには制約がありました。活動を活発化するために、本部の活動とは別に県をブロックに分けて活動を行う事になり、県西部(古河、筑西、下妻、坂東)に連絡協議会が組織されました。7月6日にその設立会が行われ、参加いたしました。

6団体13名が集まり、初めに幹事の筑西地方家族会会長の小池氏が設立の趣旨説明をされて、参加者の自己紹介・所属組織の紹介等が有りました。具体的な活動内容は、9月に予定されました会合を持って検討し進めます。今後、近隣の家族会や地活との交流が進み、協力体制ができ勉強会等により福祉活動の向上が期待できます。

武田理事長

精神障害者にも対応した「地域包括ケアシステムの構築について(千葉県の対応)の勉強会 -7月23日-

千葉県では、医療機関・障害福祉サービス事業所・行政担当者・当事者(家族)・社協/中核地域生活支援センターの5者が「ネットワークが有るといいなあ」の掛け声のもとに「長期入院者地域移行総合的推進体制検証事業」が2016年より開始され『進めたい(隊)』『広めたい(隊)』『深めたい(隊)』の3ブロックに分かれて活動をしてきたと言う事です。今回はその内容について、千葉長生圏と千葉市の活動内容についてビデオで拝見いたしました。

特に印象に残ったのが、ピアサポートシステムによる体験談の発表でした。「障害のある人自身が、自らの体験に基づいて、同じ障害のある方を支え合う」ピアサポート体制についてここまで充実している千葉県が羨ましい限りです。

小川理事



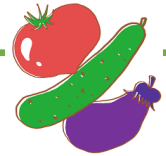
虹色ファームで夏のつどい



-8月3日-

- 性別 男性3 女性4
- 年齢層 60代2 70代5
- 所属 NPO法人会員6 家族会会員4 その他1 (複数回答)
- 今回の参加は 2回目4 初めて3
- 今後参加したいですか ぜひ参加したい1 参加したい2 どちらかというに参加したい2
- 虹色ファームはボランティアで運営されているのを 知っていた6 知らなかった1
- 虹色ファームはボランティアの募集していますが 曜日が合えば参加したい2 できない3
- 収穫物はほんと cafe で使用したり販売していますが 知っていた6 知らなかった1
- 木の枝切など男手が必要です 声をかけたらご協力願えますか はい3

前回の「虹色ファームで春のつどい」に引き続き行われた夏のつどいです。そこで今回参加していただいた方にアンケートを取りました。日頃数名のボランティアで週に1回火曜日に活動しています。目下、男手が不足しているため、どなたか月に1回でも結構です。いらして下さると嬉しいです。



新しいスタッフを紹介します(^~)

岩下昭男と申します。送迎ドライバーをしています。よろしくお祈いします。この度古河市のとても素敵な町に引っ越ししました。歴史博物館も有り素晴らしい古河城跡も有り、その様な町に住み毎日とても楽しんでます。又、古河の歴史も学びたいと思います。そんな私です。



5月末から調理補助としてお世話になっています、細沼晴美です。まだまだ分からない事も多く、皆様にはご迷惑をおかけしています。毎日何とか仕事をこなすのに一生懸命です。私は何も取り柄がありませんが、明るさだけが唯一の取柄ですかね(笑)笑うって本当に大切な事ですよ!!毎日笑顔で楽しくお仕事出来たら皆幸せですよ。これからどうぞよろしくお願いいたします。



第1回茨城県精神障害者支援事業者協会活動支援部会研修 (ZOOM) に参加して -5月26日-

ZOOMにて社会福祉法人創志会の中尾様の講演「精神疾患の基礎知識・基本的な対応」を拝聴しました。

主に生活介護・自立訓練や地活、児童デイを対象とした活動支援部会。新人からベテランまでを対象にしたこの研修では、「①自分の仕事を振り返る②障害者のおかれた背景を知る③精神疾患について学ぶ④明日から利用者との様に向き合っていくのかを考える」を狙いとしています。

利用者を知る努力を怠らず、利用者と同じ目線に立ち、利用者の側(現場)にいることを心がけ、自分はそれが出来ているか、今一度基本に戻り考える機会を与えていただきました。

山崎支援員

第2回茨城県精神障害者支援事業者協会 管理職研修会 (ZOOM) に参加して -7月17日-

コロナ禍という状況を鑑み、ZOOMを利用した研修となりました。

前半は茨城県の精神保健福祉の歴史について振り返りました。第一期は精神病として認知され始めた大正時代で『治安維持』、第二期は昭和25年の精神衛生法を始めとする『治療』、第三期は昭和62年の精神保健法など『自立支援』、第四期は平成18年の障害者自立支援法など『福祉』を目的とした法律が制定され、精神疾患に関する研究と理解が進むにつれ法律も変遷してきました。

後半は、支援者としてどのように障害を持つ方に関わるかという話でした。支援の基本的態度として、じっくりと聴く態度「傾聴」・共に感じる態度「共感」・これまでの頑張りを肯定的に認める「受容」の3つが挙げられ、直そうとする行動ではなくあくまでも「なんとかするのは相談者自身」が原則であるという事や、「できてないこと」に焦点を当てるのではなく「できていること」に焦点を当て、プラスの面を見るようにするという事が重要となります。また、援助や支援を円滑に成立させるためには、看護する者とされる者の立場を忘れず、常に同じ方向を向き決して流される事なく常識的に淡々と接する事も支援者として大切です。

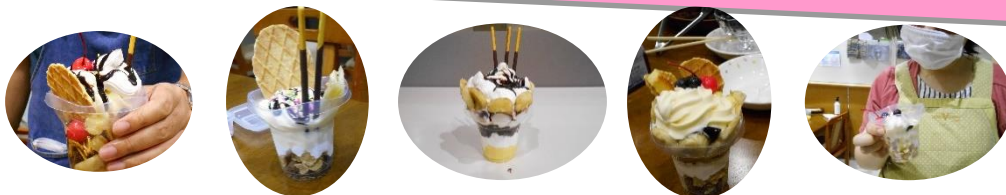
羽兼支援員



トッピング自由！オリジナルチョコレートパフェを作ろう！



お菓子教室



7月15日に「オリジナルチョコレートパフェ作り」を行いました。15名の参加者は午前と午後の部に分かれて感染に考慮しながらパフェ作りを楽しみました。たくさんのトッピングに迷う人、ソフトクリームマシンを上手く使いこなす人と様々でしたが、参加者は全員「おいしいです」と笑顔でした。



スポーツ教室

毎月最終木曜日

新聞紙でカーリング

講師：海老沼先生

今回のスポーツ教室はカーリングに挑戦です！新聞紙を丸めて的を狙います。的にある敵のボールを追い出してもOK！！チームで高得点を狙います！！



真ん中の高得点を狙います

がんばるぞー

軽やかなフォーム

勝った～(*´▽`*)



図工の時間

図工の時間では猪瀬先生のご指導のもと、様々な題材での工作や絵手紙などを行っています。ふれあいの壁には通所の皆さんの力作がいっぱいです。

毎月第2月曜日 講師：猪瀬先生



紙コップでたくさんのお花を作りました



滑り止めに毛糸でかわいく飾り付け。瓶の蓋もこれで開きます



空き箱を使ったさまざまなオブジェたち



8/5



手芸部のみなさんにマスク作りを教えてくださいました(*^▽^*)



事前に、布と自分の裁縫スキルに合った難易度【①全部自分で縫う ②半分くらい自分で縫う ③ちょっとだけ自分で縫う】を選び、キットを作っていただきました。

針に糸を通すところから苦戦する人も多く、波縫いや玉留めなどの基本を丁寧に教わりながら、全員が1時間程で完成する事ができました。



最後は自分の作ったマスクと一緒にみんな記念撮影をしました。



8月6日からのコロナによる茨城県まん延防止等重点措置に始まり、20日からは国による緊急事態宣言の対象区域に追加されました。

これを受け福祉の森会館内にあるほっとCaféは再び店内のご利用が出来なくなりました。

しかし、福祉の森会館入口でのお弁当販売は継続して頑張っていますので、よろしく願いいたします。お弁当の注文も承ります。



たくさんの寄付をありがとうございました。

家族会・NPO会員のみなさまからたくさんの野菜の寄付を頂きました。

ふれあいでは週3回メンバーのためのランチを300円で提供していますが、ランチ代金を無料にして野菜たっぷりのメニューをメンバーのみなさんに食べていただきました。この寄付の野菜を使ったランチ代無料Dayは3弾まで開催されメンバーに大好評でした。

詳しくはふれあいのHPをご覧ください



夏のふれあい

8月に入り中庭のゴーヤも盛んに実をつけ始めました。新型コロナウイルスも猛威を奮い危機的状態にありますが、ふれあいメンバーは元気に通所しています。

今年は夏野菜が豊富であちこちから野菜の差し入れがあり、メンバーもお昼ご飯作りを体験しました。また、運動不足を解消するために館内を散歩したり、スポーツ教室で軽い運動をしています。朝礼で行っているラジオ体操も継続しています。

コロナワクチン接種も対象者が低年代になってきたこともあてワクチン接種者も増えてきました。ふれあいメンバーも現在ほとんどの人が予約を済ませ、順番待ちをしています。早く全員が済ませて安心して通えるよう願っています。コロナ過ですが地活ふれあいは元気に活動しています。(小川記)



NPO法人ふれあい・地域活動支援センターふれあいは、茨城県ひきこもり者支援団体として県より認定されています

